

(入館は17時30分まで)

# 10時~18時

※毎週金曜日は19時まで(入館は18時30分まで)

# 中國美術館所蔵

画

[併催]橋本コレクションの中国絵

任伯年《臘梅小鳥》1880年

無料・毎週土曜日は小中学生無料 300円(240円) )内は団体10名以上・60歳以上の方及び障害者の方は

人館料

小中学生

100円

(80円)

[主催] 渋谷区立松濤美術館·中國美術館 「協力」 日本中国文化交流協会

[後援] 中華人民共和国駐日本国大使館

# 渋谷区立松濤美術館

The Shoto Museum of Art

〒150-0046 東京都渋谷区松濤 2-14-14 TEL 03-3465-9421 JR 渋谷駅下車徒歩15分 京王井の頭線神泉駅下車徒歩5分 http://www.city.shibuya.tokyo.jp

# 或 館所 蔵

## ●講演会

6月12日[土] 午後2時~ 「扇面画にみる日中美術交流史」 講師 小林宏光氏 (上智大学国際教養学部教授)

### ●ギャラリートーク

6月13日[日] 午後2時~ 担当学芸員

### ●美術映画会

6月19日[土] 午後2時~ シルクロード「黄河を越えて」

6月20日[日] 午後2時~4時 講師 内山懋氏(油彩)

空調機や扇風機の普及した今日でも、暑い時に涼しさをもたらしてくれる「扇」、その 「扇」には大きく分けて「うちわ」と「おうぎ」の二つがあります。中国では、前者を「団扇」 といい、後者は「折扇」「摺扇」「撒扇」などとよばれます。特に、「折扇」は宋代に日本から 中国へもたらされ、次第に中国社会に普及していったもので、日中の文化交流を象徴する ものでもあります。

本展では、北京の中國美術館が所蔵する扇面画の中から、明末清初の文伯仁、藍瑛、清朝 の華嵒, 邊寿民、清末の嶺南派・海上派、そして現在活躍する諸家の作品100点を陳列いた します。小さな画面ではありますが、そこには画家の技法が余す所なく示されています。 本展を通して、伝統を受け継ぎつつ新たな創作の道を歩みつづける中国水墨画をご鑑賞い ただくとともに、日中の長い交流の歴史を振りかえりたいと思います。

併せて、2階特別陳列室において、当館に寄託される橋本コレクションの中国絵画の名品 を陳列いたします。



居廉《草虫》1881年



黄賓虹《山水》



陳衡恪《双石》1880年

# ■ 橋本コレクションの中国絵画

当館に寄託される橋本コレクションは、故橋本末吉氏が収集された日本を代表 する中国書画のコレクションです。その中核となっているのが旧桑名鐡城コレ クションです。桑名鐡城 (1864-1938) は富山県の人で本名を箕、字を星精とい います。別に大雄山民とも号しました。書を北方心泉に学び、のちに、中国に 渡り趙之謙・徐三庚・呉昌碩等の篆刻を学び、円山大迂とともに京都における 篆刻の新派の大家となりました。中国では篆刻を学ぶ傍ら、中国書画の収集に 努め、後にそのコレクションは「九華印室鑑蔵畫録」としてまとめられました。 歿後、コレクションは分かれて、石濤などは住友家などに入りましたが、明代 の宮廷絵画の主流となった浙派の作品などは橋本氏のもとに移り、今日に至っ ています。今回は、橋本コレクション中の旧桑名コレクションの名品を陳列し、 二人の優れた中国絵画コレクターの事績を検証したいと考えます。



The Shoto Museum of Art

〒150-0046 東京都渋谷区松濤 2-14-14 TEL 03-3465-9421 JR 渋谷駅下車徒歩15分 京王井の頭線神泉駅下車徒歩5分 http://www.city.shibuya.tokyo.jp